

新年のごあいさつ

「挑戦の一年に」

仙北市長 門脇光浩

年頭のごあいさつを申し上げます。旧年も市政運営にご協力をいただき誠にありがとうございました。皆様にとって今年が佳い一年となるよう、職員一同懸命に努力をします。ご指導をよろしくお願いします。

仙北市の平成25年は、異常気象や災害で大変な一年でした。特に田沢の先達地区で起こった土石流で、市民6人の尊い命を救うことができませんでした。災害を教訓に、市も県も国も、新たな対策が続いています。

さて、上松木内地区の光ブロードバンド工事は、今年3月の供用開始を予定しています。これで市内光ファイバーのカバー率が100%になります。角館地区では防災行政無線の運用が始まりました。今後は全地域でのデジタル化と、個別受信機対策を進めます。

クニマス里帰りプロジェクトの田沢湖・クニマス未来館（仮称）は、議論が継続中です。国際交流は台湾や中国からの旅行者（修学旅行を含む）が増加し、韓国は減少傾向です。県事業では大曲養護学校せんぼく分教室が開校、新制角館高校は4月には旧角館南高校校舎からスタートします。市では新たな歴史を刻む若者の頑張りを大応援します。

日本農業は減反から舵を切り、国際市場に対抗できる大規模農家を育成する方針です。市は小規模農家を元気づける独自の農業ビジョンを作成します。6次産業化の加速と雇用創出は、大規模肥育牛団地の竣工、イチゴ水耕栽培などがスタートしています。さらにスーパ原料を製造する食品会社が、生保内に進出する準備を進めています。

あきた食彩プロデュースの拠点施設は、協働社角館プラザ店の閉店後跡地に予定されている町屋プロジェクト（ホテルを核とした複合施設）と連携し、平成27年の開業予定です。市ではその他、複数企業との事業連携について協議を続けています。

皆様のご協力をいただき秋田県種苗交換会は大成しました。今年は全日本モーグルスキー大会がたざわ湖スキー場で開催されます（世界選手権の招致は目前です）。そして国民文化祭です。思いっ切り頑張りますよう。

地域運営体への交付金は、上限額の一律交付から、一定基準額に人口や面積を勘案した交付スタイルに見直し作業中です。運営体で取り組んできた除雪事業は、福祉予算での対応を検討しています。角館総合病院は、基本設計を終え実施設計に入りました。また、新病院に直結する市道岩瀬北野線開設の準備も、同時進行で進んでいます。子育て環境の改善にも努力の真つ最

中です。公約で示した「少子対策に挑戦」する思いです。結婚サポート事業を具体化し、育児支援を充実します。また、幼稚園の施設改修や新制度づくりに着手します。高齢者の職場づくり、健康維持の仕組みも検討中です。

震災ガレキの受け入れは、昨年末で終了しました。角館庁舎の移転については、現在耐震調査を行っています（2月末に事業完了予定）。結果を土台に角館庁舎の在り方、一体型庁舎の本格議論に入ります。国道・県道の改修、第2仙岩トンネル構想など大規模事業は、可能性の扉が開くまで叩き続けます。

現在、市役所の組織再編作業を行っています。組織再編は市民からの行政需要、職員の急激な減少、民間への事業移転など、様々な変化を見極め、部局数も3分の1程度まで圧縮する方針です。改変は段階的に進め、一体型庁舎でのサービス開始に間に合わせます。何より皆様、健康に十分ご留意ください。